

スーパーマーケット景気動向調査

2022年2月調査結果（1月実績）
（2022年2月22日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

2月調査（1月実績）結果概況

景気判断DIは現状・見通しともに改善

1月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は、前月から+1.7の40.9、見通し判断は前月から+3.0の37.5となり、ともに前月から改善をみせた。

経営動向調査では、売上高DI、収益DIともに前月からマイナス幅をわずかに縮小した。中旬までは感染状況の落ち着きにより内食需要の減少がみられたが、その後持ち直した。畜産相場や水産相場の高値傾向による生鮮品仕入原価DI、原材料価格高騰による値上げで食品仕入原価DIの上昇傾向が続いており、いずれも二桁プラス域で高止まりしている。

カテゴリ動向調査では、前年緊急事態宣言下で内食需要が高まった反動はあるものの、前月に比べマイナス幅を縮小したカテゴリが多い。惣菜DIのみが二桁のプラスとなっている。(カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載)

景況感調査は、巣ごもり需要の回復傾向により、景気判断DIや消費者購買意欲DIが小幅な改善をみせた。(長期傾向についてはP11参照)

世界的な物価高騰の影響が国内にも徐々に波及しており、ガソリンや灯油の価格高騰だけでなく食品にも値上げの動きが目立つようになってきた。また、オミクロン株の特性により、生産や物流への影響、そして店舗での人員不足が発生している地域もあり、営業継続が困難になるケースも出ている。

今後も感染状況により消費者心理は短期間で変化する可能性がある。足元の販売動向の把握に前年の影響を受ける前年同月比だけでなく、前週比など直近との比較も有効となる状況にある。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：40.9 (+1.7) 前月：39.2	消費者購買意欲DI 当月：43.2 (+1.4) 前月：41.8	周辺地域 競合状況DI 当月：41.3 (+0.9) 前月：40.4	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：41.8 (+0.2) 前月：41.6
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：37.5 (+3.0) 前月：34.5	消費者購買意欲DI 当月：41.6 (+3.0) 前月：38.6	周辺地域 競合状況DI 当月：39.4 (+0.9) 前月：38.5	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：40.5 (-0.3) 前月：40.8
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-9.9 (+1.7) 前月：-11.6	客単価DI 当月：0.2 (-3.8) 前月：4.0	来客数DI 当月：-12.8 (+4.5) 前月：-17.3	
収益DI 当月：-11.1 (+2.5) 前月：-13.6	販売価格DI 当月：11.9 (+3.3) 前月：8.6	生鮮品仕入原価DI 当月：12.8 (+1.1) 前月：11.7	食品仕入原価DI 当月：15.4 (+4.2) 前月：11.2

カテゴリ動向

青果DI 当月：-13.9 (-2.6) 前月：-11.3	水産DI 当月：-4.9 (+7.5) 前月：-12.4	畜産DI 当月：-13.9 (+3.1) 前月：-17.0	
惣菜DI 当月：9.5 (+0.4) 前月：9.1	日配DI 当月：-8.1 (+3.8) 前月：-11.9	一般食品DI 当月：-8.8 (+6.1) 前月：-14.9	非食品DI 当月：-6.4 (+11.7) 前月：-18.1

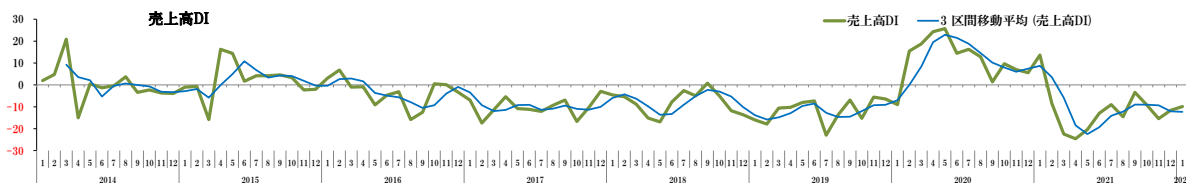
※DI値は前年同月との比較 / ()内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

マイナス幅縮小も、前年比では低迷が続く

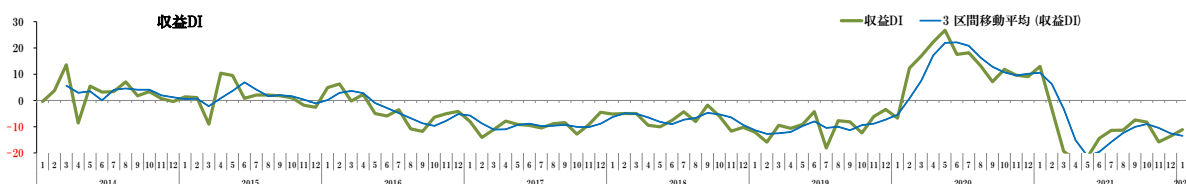
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	13.1	42.6	24.6	16.9	2.7	-11.6
売上高 (当月)	13.6	38.3	24.7	20.8	2.6	-9.9



2. 収益DI

マイナス幅縮小も、前年比では低迷が続く

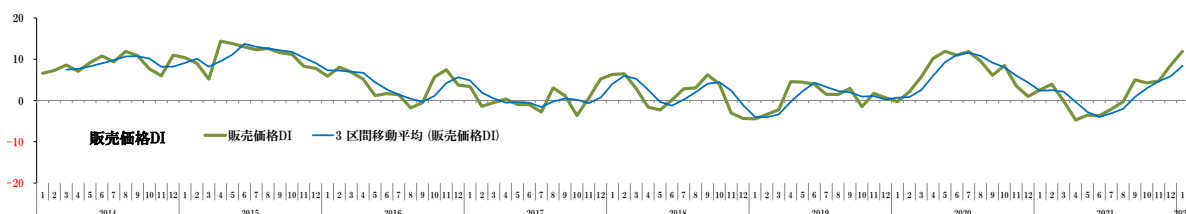
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	17.2	37.8	29.4	13.3	2.2	-13.6
収益 (当月)	15.9	37.1	26.5	16.6	4.0	-11.1



3. 販売価格DI

5か月連続で上昇し、二桁プラス圏を記録

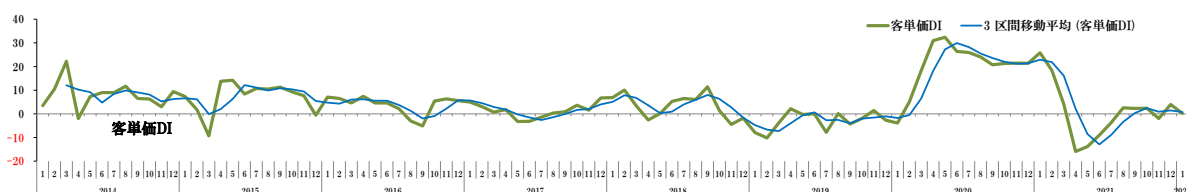
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.6	5.5	53.6	39.8	0.6	8.6
販売価格 (当月)	0.0	4.0	44.4	51.7	0.0	11.9



4. 客単価DI

前月からプラス幅を縮小

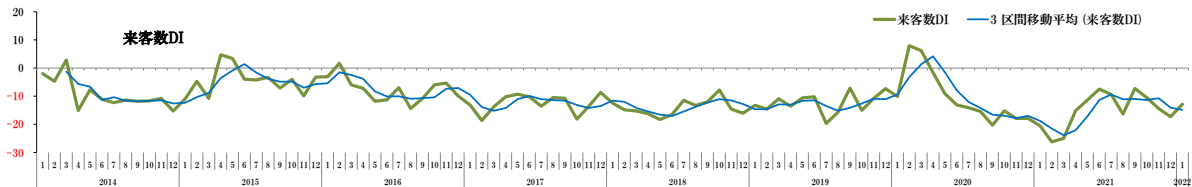
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	1.6	20.8	39.9	35.5	2.2	4.0
客単価 (当月)	1.9	28.6	37.7	30.5	1.3	0.2



5. 来客数 DI

ややマイナス幅を縮小するも、二桁マイナス圏で推移

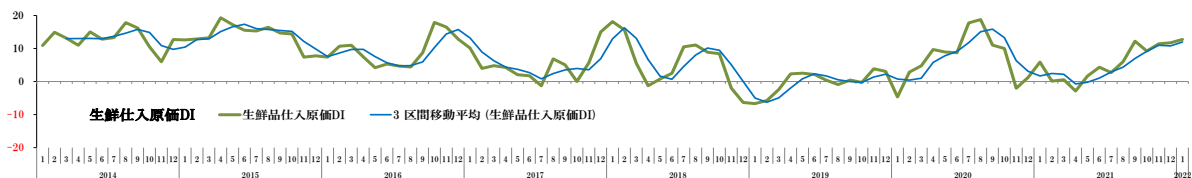
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	14.8	51.1	23.6	9.3	1.1	-17.3
来客数 (当月)	12.3	44.8	26.6	14.3	1.9	-12.8



6. 生鮮仕入原価 DI

引き続き二桁プラス圏で高止まり傾向

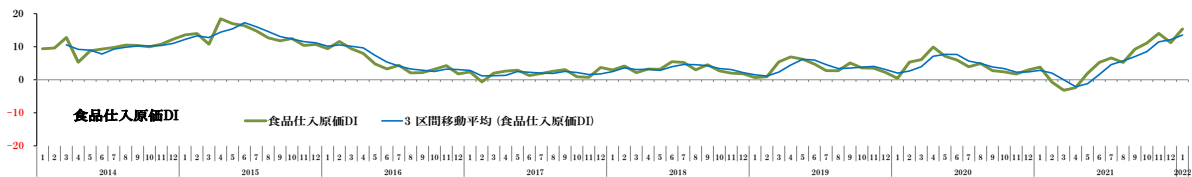
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.3	9.6	32.8	49.7	5.6	11.7
生鮮仕入原価 (当月)	1.3	7.4	36.2	49.0	6.0	12.8



7. 食品仕入原価 DI

上昇傾向が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.7	11.8	32.6	47.8	6.2	11.2
食品仕入原価 (当月)	1.3	5.3	31.8	53.6	7.9	15.4

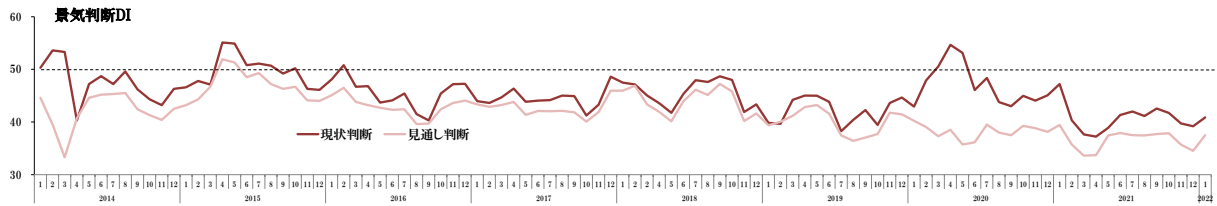


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は前月水準も、見通し判断は改善

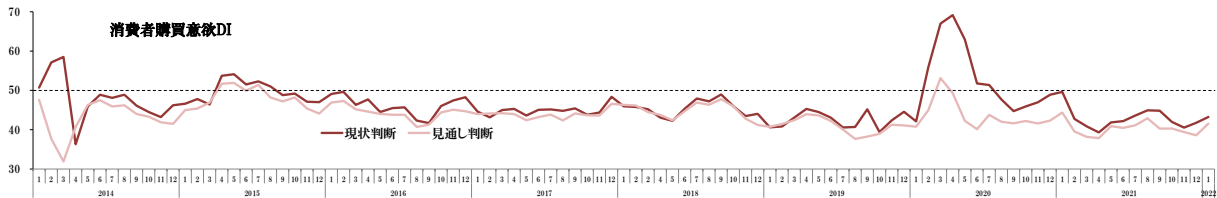
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	5.9	38.9	48.1	6.5	0.5	39.2
【現状】景況判断 (当月)	3.8	37.2	50.6	8.3	0.0	40.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	8.7	47.8	40.2	3.3	0.0	34.5
【見通し】景況判断 (当月)	5.1	43.6	47.4	3.8	0.0	37.5



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断、共に改善

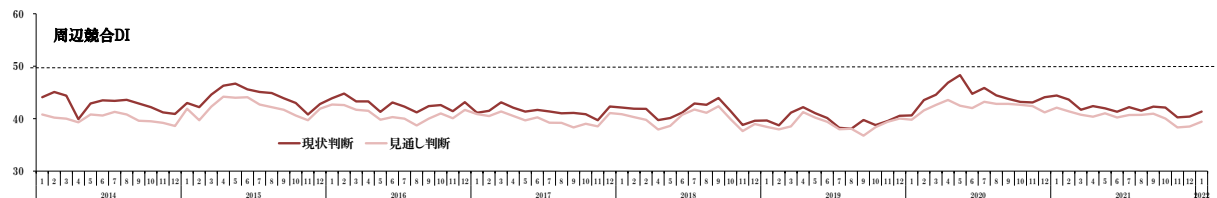
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	3.8	35.7	50.8	9.2	0.5	41.8
【現状】購買意欲 (当月)	2.6	32.3	54.8	10.3	0.0	43.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	2.7	45.1	47.8	3.8	0.5	38.6
【見通し】購買意欲 (当月)	1.9	36.4	55.2	6.5	0.0	41.6



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断ともにわずかに改善

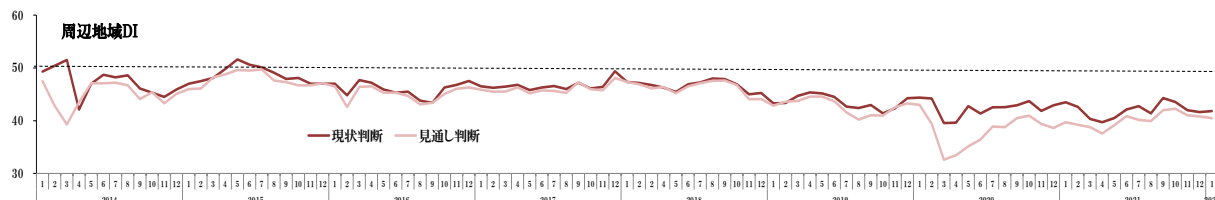
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	5.4	28.6	64.9	1.1	0.0	40.4
【現状】競合状況 (当月)	4.5	27.6	66.0	1.9	0.0	41.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	7.6	31.9	59.5	1.1	0.0	38.5
【見通し】競合状況 (当月)	7.1	29.5	62.2	1.3	0.0	39.4



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断ともに前月と同水準

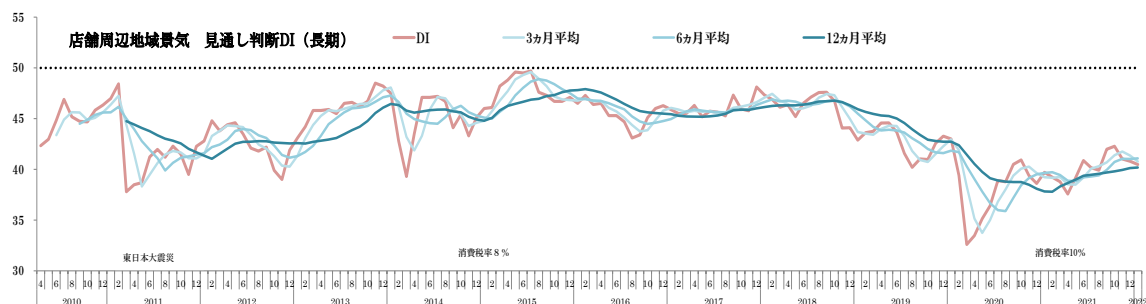
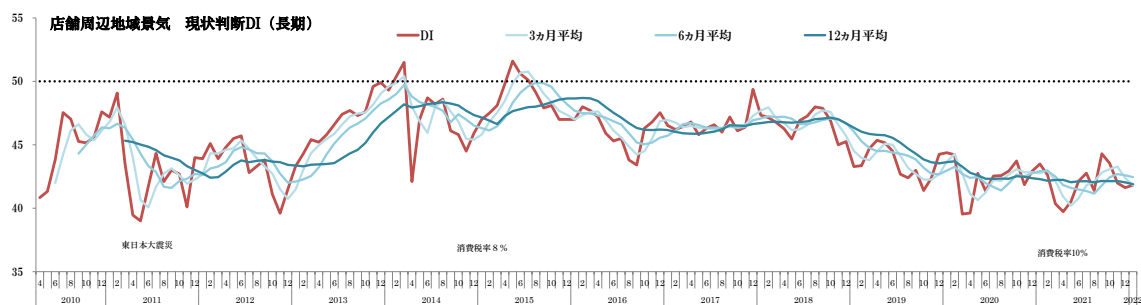
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	2.7	31.9	61.6	3.8	0.0	41.6
【現状】地域景気 (当月)	1.3	32.1	64.7	1.9	0.0	41.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	2.2	35.7	58.9	3.2	0.0	40.8
【見通し】地域景気 (当月)	1.3	36.1	61.9	0.6	0.0	40.5



・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

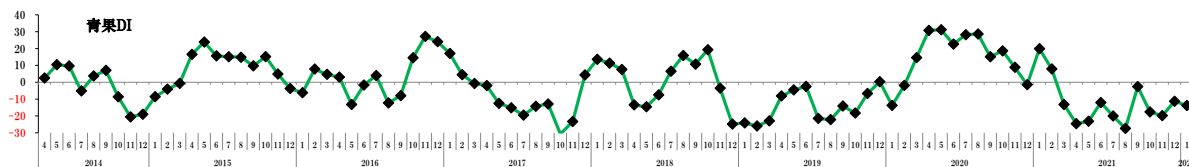
しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。20年2月に大幅に悪化した。5月から10月まで持ち直しの動きが続いた。その後21年2月からは悪化するも、5月以降は小幅ながら改善傾向が続いている。その後、9月に大幅な上昇をみせ各移動平均線を上抜きましたが、年末にかけて再び弱含みとなっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-13.9（不調）

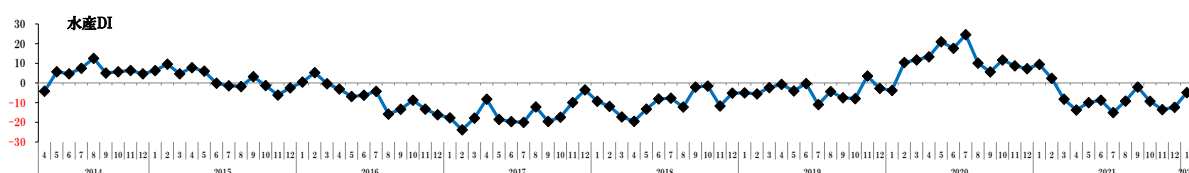
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	10.7	45.8	24.9	15.3	3.4	-11.3
青果（当月）	17.6	42.6	19.6	18.2	2.0	-13.9



特に中旬頃までは感染者数が少なく、内食需要は落ち着き、不調となった。タマネギやじゃがいもなど土物類は相場高となって売上を確保した店舗が多く、焼き芋などサツマイモが好調とのコメントもみられた。葉物類は相場安で単価が下落し伸び悩んだ店舗が多い。白菜、菌類をはじめ鍋物関連は、気温による影響を受け、好不調の判断がわかれた。国産果物ではみかんは比較的好調に推移したが、生育不足で相場高となったイチゴは不調とするコメントが多かった。

2. 水産DI：-4.9（やや不調）

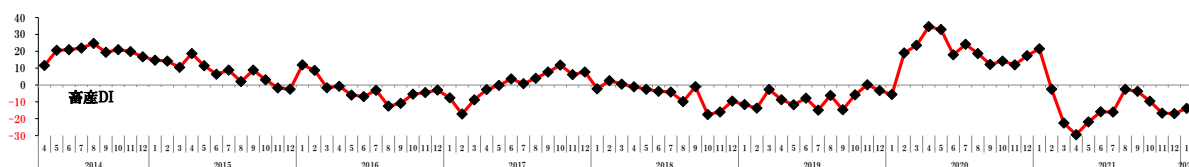
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	12.5	45.5	25.6	11.9	4.5	-12.4
水産（当月）	8.1	37.8	27.7	18.2	8.1	-4.9



年始は、刺身類、大型パックなどが好調に推移した。中旬までは内食需要に落ち着きがみられたが、下旬は回復傾向も。漁船の燃料費高騰もあり生魚の入荷が不安定なうえ、輸入品の高騰など相場高となっており、販売に苦労した店舗が多かった。カニや輸入魚介類（鮭・えび・タコなど）や冷凍加工品、珍味の価格上昇が目立ち、販売数量を落とした店舗が多い。タラや牡蠣など鍋関連は気温の影響で好不調がわかれた。ブリやハマチをはじめとする一部の魚種には、前年の農林水産省・緊急対策事業による補助からの反動減もみられた。

3. 畜産DI：-13.9（不調）

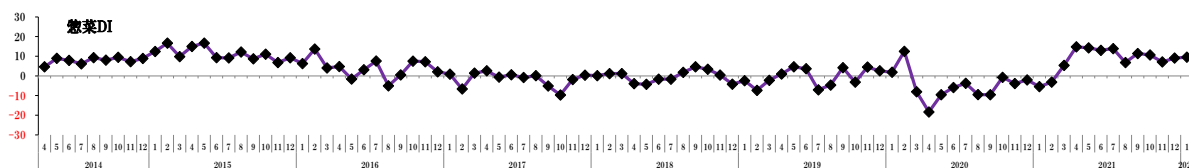
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	21.3	42.1	21.3	13.5	1.7	-17.0
畜産（当月）	19.6	37.8	23.6	16.2	2.7	-13.9



年始は和牛など高単価商品や大型パック中心に好調に推移したが、中旬まで内食需要が落ち着き、販売数量の減少傾向が続いた。下旬からは保存の利く畜産品の需要が高まった。牛肉は、すき焼きやしゃぶしゃぶ用が低調であり、なかでも輸入牛に価格高騰が続いており、販促も打ちにくく伸び悩んだ。比較的価格が安定している国産豚肉や、鶏肉は比較的好調に推移した。ハムなどの加工肉は前年を下回った店舗が多い。

4. 惣菜DI：9.5（やや好調）

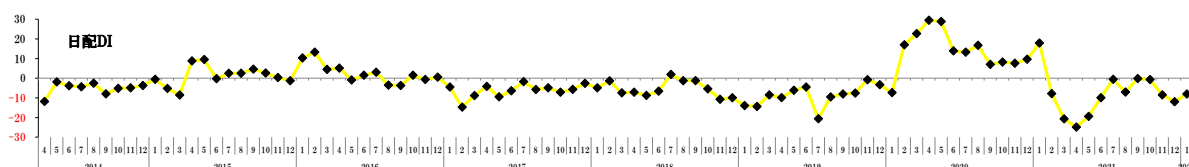
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.4	17.6	30.1	36.9	11.9	9.1
惣菜（当月）	5.6	13.2	31.3	37.5	12.5	9.5



年始は帰省や集まりも増え、寿司やオードブルなどの大型パックが好調となった。中旬までは夕方以降の人流が増加し、揚げ物やフライ類を中心に夜間売上の回復傾向がみられた。中旬以降は、昼食需要や家飲み向けの焼鳥やつまみ類の動きがよくなった。週末を中心に寿司類は引き続き好調、近場への行楽や小規模イベント再開により、弁当類も好調に推移した。原料や資材の仕入れ原価の高騰を懸念するコメントがみられた。

5. 日配DI：-8.1（やや不調）

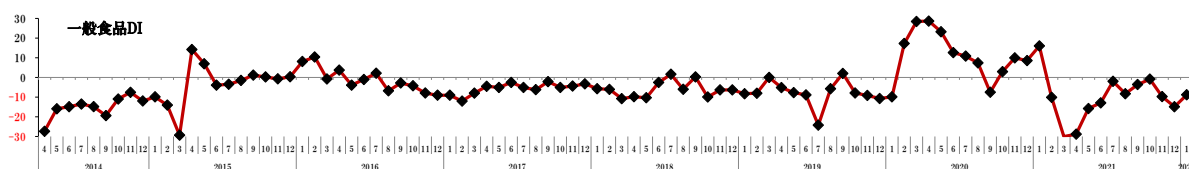
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	10.7	43.3	31.5	12.4	2.2	-11.9
日配（当月）	10.1	35.6	34.9	15.4	4.0	-8.1



中旬まで内食需要に落ち着きが見られ、全般的に買上点数が伸び悩んだ。利便性が定着した冷凍食品や、デザート類は引き続き好調に推移した。値上げのあったパン類も前年を上回った店舗が多い。和日配は、前半高めの気温の影響でこんにゃく、練物、豆腐など鍋物関連、納豆も伸び悩んだ。乳製品は、機能性ヨーグルトを中心に不振となった。

6. 一般食品：-8.8（やや不調）

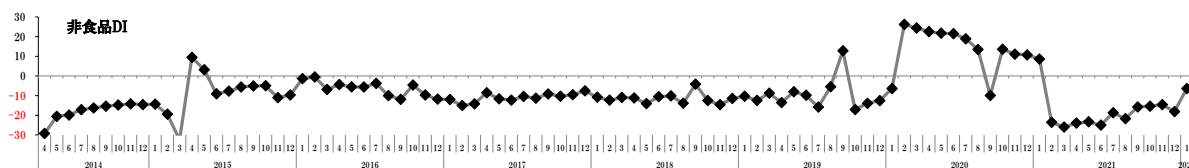
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	15.2	46.6	21.3	16.3	0.6	-14.9
一般食品（当月）	11.3	35.3	31.3	21.3	0.7	-8.8



前年緊急事態宣言下であった反動により、保存性の高い食品（カップ麺、パスタなどの乾麺類、レトルト類、缶詰など）は伸び悩んだ。値上げのあった油や調味料は単価上昇となり好調に推移した。菓子類、水や飲料は好調、一方で鍋関連やホットメニューは気温の状況により好不調がわかれた。家飲み需要は堅調に推移しており、ビール類を中心に酒類や珍味などのつまみ類の動きがよかった。米類は相場安により売上を確保できなかった。値上げが相次いでおり、今後の販売数量減を懸念するコメントがみられた。

7. 非食品 DI：-6.4（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	23.6	37.4	28.2	9.8	1.1	-18.1
非食品（当月）	11.7	31.0	33.8	17.9	5.5	-6.4



マスクやハンドソープ、除菌関連などの衛生用品の反動が一巡してきたほか、ティッシュやトイレットペーパー、キッチンペーパーなどの紙製品の値上げ報道により好調に推移した。家庭用洗剤は巣ごもり需要が落ち着き不振となった。カイロなど冬物商材も伸び悩んだ店舗が多い。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2022年2月調査（1月実績）キーワード TOP3

1. 中旬まで内食需要落ち着き、下旬は回復
2. 販売価格と仕入れ原価の高騰
3. 前年緊急事態宣言下、寒波による特需からの反動

（参考）2021年2月調査（1月実績）キーワード TOP3

1. 緊急事態宣言発令（飲食店時短営業）による内食需要拡大
2. 青果相場の落ち着き
3. 寒波（気温の低下、大雪）

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

1月実績速報版 156社
 12月実績確報版 185社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp